

## 発刊にあたって



昭和十八年に松戸市が市制を施行して以来、昨年は四十五周年の記念すべき年にあたりました。

人口僅か四万余人。すべてが戦争遂行に動員され、まちづくりなど思いもよらなかつた市制施行当時から四十五年間を振り返りますと私たちの松戸市もさまざまな変化がありました。

十五年以降の高度経済成長の影響により、市の人口は急激に膨張を始めました。戦争による疲弊の時代を経て日本の経済も復興し、やがて昭和三

昭和四十年代に入ると都市化の波はさらに続き、その結果、急激な人口の増加に伴う歪が目立ち始めました。

昭和四十九年から、私は、市民の皆さんのご理解のもとに年次計画によって差し迫った問題の解消、都市基盤の整備に努めてまいり、幸いこれまでに大きな実績をあげることができました。

いよいよ未来のためのまちづくりに取り組める時です。市制施行四十五周年の昨年末に、二十世紀を展望した長期構想の実現をめざして市民の皆さんとともに第四次総合五か年計画をまとめることができました。

本年は平成元年。未来への転機の年にあたります。

このたび、既に刊行された広報まつど縮刷版の第二集として、昭和五十三年から五十七年までの縮刷版を刊行することになりました。

この縮刷版が「温故知新」の書として本市が歩んできた歴史を知り、今後の松戸市の指針となれば幸いです。

私どもは、市勢発展のため更なる努力をお約束するとともに、皆様方の一層のご協力をお願い申し上げます。

平成元年 三月三十日

松戸市長 宮間満寿雄